

# 白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで  
健やかに生きる児童の育成

令和7年度  
No.13  
東海村立白方  
小学校  
2025.6.27  
児童数 451 人

来週火曜日から7月に入ります。6月10日に梅雨入りした後、曇りや雨の日が多く、中々すがすがしい天気にならない日が多かったです。先週は暑さが厳しくなりました。今週はややじめじめしております。ケガや病気に気を付けながら、小まめな水分補給や室内での生活の仕方などについて互いに声をかけ合い、よりよい生活を心がけています。

梅雨が明け高温の日が続く予報が出ております。学校では熱中症指数の測定を毎日行い、指数が高い場合は体育の授業を休止すると共に、冷房を適宜使用する、喉が渴いたと感じる前に水分補給の声かけをするなど、熱中症の防止に万全を期して参ります。水筒の中身の入れ替えや洗浄など大変お手数をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします

高齢の方、障がいのある方への対応の仕方について ～どうしたらいいのか考えました。～

6月10日（火）社会福祉協議会の方に来校していただき、福祉とはいったいどういったことなのかについて学びました。福祉とは、障がいのある方や高齢の方を含め、多くの方々の生活が向上するための支援やサービスであるということを知りました。そして、高齢の方や障がいのある方にどんな支援をすることがよりよい生活になるのかをみんなで考えました。例えば耳が聞こえない方とコミュニケーションをとる際にどんな支援方法があるかといったことを考えました。紙に書いてやり取りする、手話を使ってやり取りするなどの方法を教えていただきました。

6月19日（木）にはインスタントシニア体験を行いました。高齢者の方が手足が動かしづらい状況を手におもりを付け、足にサポーターを巻いて体感するとともに、周りの物が見えづらい状況をゴーグルを付けて歩く、階段を上る、トイレに入る、細かいものを箸で摘む、靴を履き替えるなどの体験をしました。階段では上ったり下りたりする際に足が思うように動かないととても辛いことに気が付くことができました。トイレに入ってちょっと屈むこともとても大変なことが分かりました。細かな作業は手が思うように動かない場合はとても時間がかかることを実感しました。高齢者の方は普段の生活の中で苦労されていることを知り、今後困ってい

る場面に出会った時に自分たちができそうな手助けしたいといった思いをもつことができたようです。



## 測量体験学習

～距離や高低差を測る測量機器の使い方を学びました。～

6月12日（金）に6年生が測量体験学習を行いました。県の測量協会から派遣された測量会社の方々にお越しいたいただき、3つの活動に分かれて体験学習を行いました。

活動1では、歩測による距離の測り方を学びました。まず自分が□歩、歩いた時の距離を測定していただき、その距離を□で割って、1歩あたり進む距離を求め、その1歩の距離を使って、グラウンドのトラックの一部の距離を測るといった活動を行いました。歩測により大まかな距離が測れることを学びました。

活動2では、自分がソフトボールを投げ、落下した地点の距離を目測（目で見てどの程度の距離か予想する）で予想した後、測量機器を使って正確に出した距離、つまり実測と目測がどの程度距離が違うかを調べました。目測と実測で3～5m違う人や、ほんの10cm程度しか変わらない人など、目測は人によってばらつきがあることが分かりました。

活動3では、様々な計測機器を実際に見せていただき、現在行われている最新の測量技術について学びました。ドローンを使って、広範囲の地面の高低差を測量するといった測量方法も見学することができました。

建物を建てたり、道路を造ったりする際に測量は欠かせないものであり、測量のずれは建物や道路の崩壊などにつながるため、正確さが求められることを学ぶことができました。普段使用している地図帳は、こうした測量を長く積み重ねてきたからこそ、ほぼ正確な縮尺でできているのです。多くの機材を準備して、具体的な測量技術について教えてくださった皆様に深く感謝いたしております。

